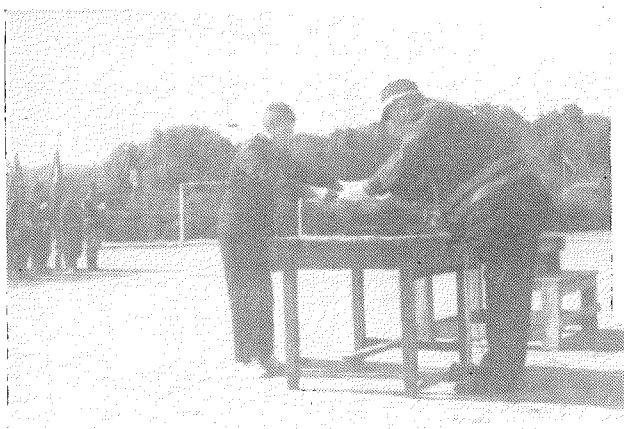
広報あいら

発行所 鹿児島県姶良郡姶良町役場
発行人 池田盛孝 編集人 吉井忠夫
(印刷所) キング堂印刷所

町の人口動態
(2月1日現在)

戸数		6,073戸
人口	男子	10,364人
	女子	12,018人
	合計	22,382人
1月の	出生	20人
	死亡	15人
	転入	130人
	転出	141人



(表彰をうける米増雄一君)

二百二十四名が社会人の仲間に

東京でオリンピックの行われる意義深い、昭和39年の新春、満二十才の方々を、心からお祝いするがごとく、空も清らかに晴れた、小春日和の一月十五日、建昌小学校講堂において多数来賓のご列席のもとに二二四名を祝いはげます式が厳粛に行なわれました。

君が代斉唱に始まり、蔵満教育委員長の開式のことばは「皆さんは法律上子どもとして取り扱われていましたが、きょうからは、りっぱなおとなとして世界の人から取扱われることになりました。今後も皆様は身体を健全にし、豊かな教養を身につけ、先ぱいの方々に負けぬよう、がんばりましょう」と励ましのことばがあって、つづいて講堂もわれんばかりの拍手の中で、成人者代表梅木逸郎君の手に、町長から成人章および記念樹が贈られた。

つづいて町長は「本日成人式を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。これからの皆様の人生は決して平たんなものではございません。幾多の世相の苦難を乗り越えて、行かれると共に自己の知性を磨き、町外に出ても恥ずかしくない青年として、また町内に居住してもりっぱな中堅町民として町発展に協力してください」との激励のことばがあった。

つづいて住民を代表して森川議長、秋丸県議、おかあさん代表中西町婦人会長、先輩青年の肝付町青年団長、町内学校代表川野帖佐中学校長のお祝いのことばが贈られ、成人者たちは一段と誇りと自覚を深められ、その決意を、春花の東郷時子さんが代表として「皆様方の激励のことばを仰ぎ世の荒波を乗り越えて行く覚悟でございます。本当にありがとうございます心からお礼申し上げるとともにきょうの感激を今後の私たちの人生にいかし、りっぱな町民となることをお誓いいたします」と、二百余人の決意を力強く謝辞をのべて頼もしさの中に厳粛なふんいきがかもしだされた。

最後に山路教育長は記念樹のきんかんの木の様にすくすくとのび、やがては幸福な実が いっぱい稔るよう努力してくださいと閉式のことばで結び、その後全員かくしきれぬ喜びの笑顔で記念撮影をしてどこまでも健全なる成長を祈りつつ解散した。

意義ある人生を

学生 長野勝利

一月十五日、この日を知らぬ者はあるまい。それは人々がこぞって我々成人となる者に「おめでとう。」と、心から祝福してくれる日である。そこでそれを甘受する一若輩として、抱負を述べて見たい。

小生は先ず「誇りを持て」といいたい。成人としてのしかるべき態度を持てという事である。それを理解してこそ、歴史的にも精神的にも成人と言えるのではなかろうか。また慢心しては、自己の人間性、いや社会の発展をも有り得ないであろう。我々青年は誇りを持ち、かつ青年としての理想と信念をしっかりと相抱いて、個人的にまた社会的に意義ある人生を送ろうではありませんか。

成人の日にあたって

姶良町農協 古木有子

この世の中に、生まれたかいあってこのすばらしい成人の日を迎えることができましたことを今さらながら、父母に対して、深く感謝したい。本当にありがたい。この事実を期して和やかな心をやしない、自分の心をもち、すべての人々から愛され、喜ばれ尊敬される人間〃いつどんなところでもなくてはならない人間〃これをモットーにいかなる試練にも耐えて生きていきたい。

成人の日

事務員 川島和子

きょうよりはおとなと成りて我もまた、社会のために何か尽さん

親の恩

ふたとせの長き月日を顧みて、親の恩こそ尊かりけり

よき社会人に

学生 畠中浩二

いたらない自分が一歩でも一センチでもよき社会人となるように、努力していきたいと思っています

一歩一歩進みたい

農業 宇都克巳

今までのように、向不見でなく、何事も考慮して自分で責任を負う事のできる範囲内で事を行なおうと思います

十二の虹

消防出ぞめ式

恒例の出ぞめ式は1月10日山田中学校で来賓一般多数のご出席を得て盛んに行なわれまず大重収入役の開式のことばにつづいて、国旗掲揚、町長の検閲は十二分団二〇四名の、勇ましいハッピ姿は観覧者の目を見はらせるものがあります。つぎに機械装備の点検、分列式にうつり、藤崎団長の号令のもとに、きびきびした、一糸みだれぬ行進はたのもしく力強さを感じました。

つぎに可搬動力ポンプ操法で郡で一位となった三叉分団の操法と、下名分団による自動車ポンプ操法の披露があって観覧者の盛んな拍手をうけました。つづいて団長の指揮のもとに、校庭前の川に十二のつつがいっせいに青空に向けられた、その様は雄大で力強さを感じました。ここで十分間休けい後表彰および感謝状の贈呈式が行なわれた。

県知事表彰は防火ポスターに入選された帖佐中の蔵満功君と福山道子さんが受けました

県消防協会姶良支部長表彰

上名分団長	郡山 平	
船津分団長	清水隼人	
建昌分団長	宮田静夫	
町長、団長表彰		
優良分団	米山分団	優良団員 大山分団班長 小坂 照男
		〃 船津分団団員 川辺 秀男
		〃 建昌分団団員 蔵満 英一
		〃 三叉分団団員 湯徳 武男
		〃 戸島 秋男
		〃 脇元分団団員 春山 忠義
		〃 上名分団団員 長坪 光雄
		〃 北山分団班長 山口 照夫
		〃 松原分団団員 黒木 弘
		〃 米山分団団員 野村 重彦
		〃 八代 正
		〃 上野 正春
		〃 下名分団団員 川俣 光男
		〃 溝口 正
		〃 平松分団団員 福島 三男
		〃 木津志分団団員 坂元 留男
消防協力者感謝状		
	永瀬部落	米増 雄一
	春花部落	有江 敏則
	上名消防後援会長	大重 兼行
	平松消防後援会長	木下 時吉

感謝状を受けた米増雄一君は去る日永瀬部落で、幼児の火遊びによるボヤの際 いち早く発見し附近の人々に知らせ消火につとめ大事にいたらなかった功績によるものであります。

有江敏則氏は消防の重要性をよく認め、防火水槽敷地を無償で提供されたものであります。

後援会長の大重兼行氏と木下時吉氏は消防の重要性を認め機械器具を寄贈されたものであります。つづいて町長訓辞は、防火、防水その他災害時には団員皆様のご尽力によって最少限にとめ、住民に安定感を与えその労に厚く感謝申し上げ、なお現在は若い者は都市へ都市へと出ていく、皆様には町の中堅となってさらに町政にご協力くださいますようお願いのことばがあった。つぎに知事代理をはじめ来賓のお祝いのことばがつぎつぎにあり、児島総務課長の祝電の披露があった。つづいて藤崎団長の答辞は機械装備はもちろん、団員の待遇を改善してほしいとのことばがあり、花田助役の閉式のことばがあって解散した。

町の紋章募集

町の紋章をつぎの要領により募集しますからふるって応募ください。

一、内容 姶良町を象徴する紋章であること
一、用紙 官製ハガキを使用し上半分に解説を下半分に紋章を書くこと。ひとり三枚以内とし官製ハガキ外の用紙は無効とします。
一、色 色は墨一色のこと。
一、〆切 昭和39年2月末日消印有効
一、応募資格 町内に居住していること。
一、審査 町内の有識者をもって審査する。
一、賞金 入選一点、佳作二点とし、それぞれ薄謝を呈します。

同じ紋章のときはちゅうせんで決めます。

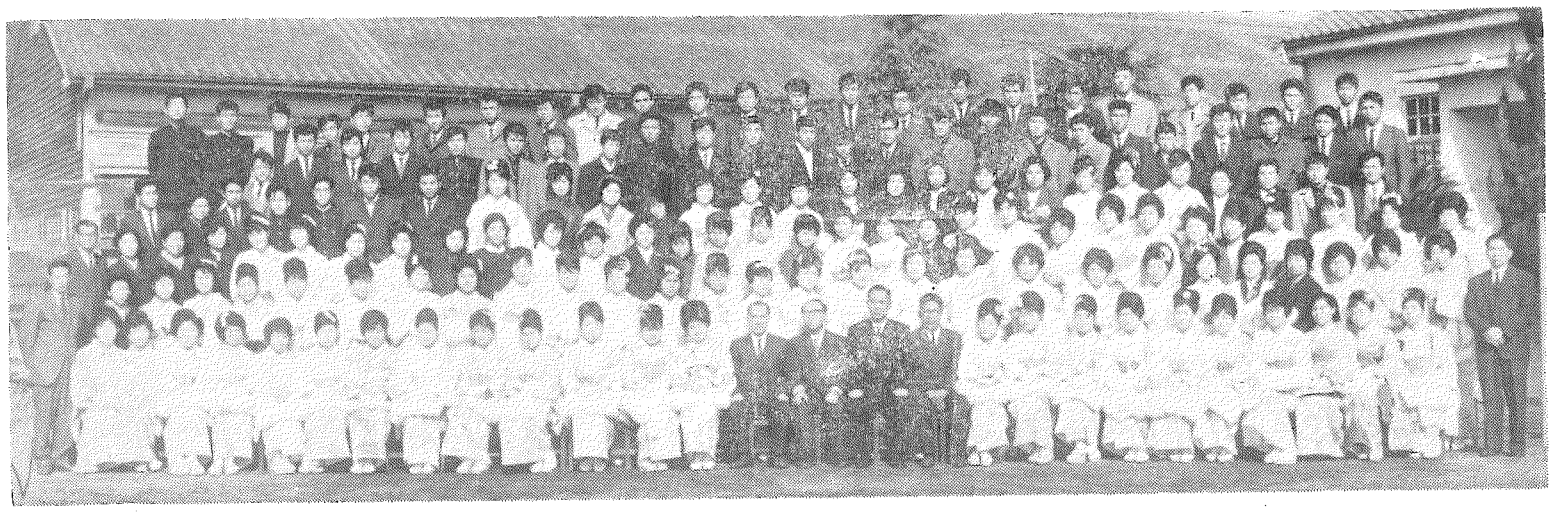
一、発表 四月の広報で発表します。
一、参考
イ 住所職業年令氏名をわすれないこと。
ロ 応募先および問い合せは役場企画室へ

寺師 下名地区土地所有者にご協力を

地籍調査

ことしの地籍調査(寺師、下名地区)については、皆さまのご協力によって山林地区全域の細部測量に着手しています。測量班も年度内に完了したい考えであります。

ついては一部境界杭の設置してないため作業をすすめられませんので、早急に境界を明示してください。



農業委員会委員の任期満了と改選

始良町農業委員会委員の任期が二月十一日をもって満了するために二月七日に改選が行なわれます

農業委員会は教育委員会とともに、町の行政機関の一つとし農業発展のために存置してある機関でありますが、農業委員会の性格としていえますことは、農業従事者の公選によって選ばれた委員一五名と町長の選任された委員六名をもって構成された会であること。

農地行政については執行機関であり、他の農業全般については諮問答申、建議等を通じて農政活動を展開しなければならない農民の利益代表農政団体であるということであります。

したがってこの二面の性格をもつ農業委員会が改選を機会に果にどのように活動するか、委員会事務局の意見をきいて、二、三の問題を提起し今後のご活動をおねがいいたしたいと思います。

まず農業委員会の独自の任務として農地行政があります。そのようどころは農地法の運用にあるといえます。農地法は農地改革の成果を維持し、農業生産の発展に寄与することをねらいとして制定せられたものでありますが、制定後約十二年を経過した今日、若干のむ盾をはらんでいることも十分うなずけますが、耕作農民の地位安定をはかるという意味からは、農村社会政策の面から尚ゆるがせにできない問題をかかえています。

今日さかんに農業構造の改善が叫ばれていますが、これは単に農業の生産、流通、消費の仕組を改善することや、又農地の平面的地ならしをよくするということだけでなく、あわせて農地の所有耕作の形（規模拡大、交換分合、集団化、協業化）をかえなければ、どうしても将来一人立ちできる農家の育成はできないであろうことを意味しております。

このような仕事を達成することは容易なことでなく、他の産業との関連、社会保障等の問題もありますが　すくなくとも農地行政と密接不可分の大仕事であろうと思われます

したがって農業委員会のこの面の責務は極めて重いといわなければなりませんが、現実的には現行法にもとづいて、可能な限り前向きの姿勢で法の運用をはかり、わるい点については、農政団体としての立場から改正するように運動（建議）すべきであろうと考えられます。

かって農林大臣のこの問題についての諮問があり　全国のそれぞれの農業委員会が意見を集約答申したことがあります。

以上農地行政の面からその大筋をとらえてみたわけですが、小さくとらえると問題は多く、例えば農地の転用問題、賃貸借期間の問題、小作料の問題たくさんありますが　農地問題については、行政農政の両面からのよりよい活動をおねがいしたい。転起にたつとでも言いたい始良町の理想像の建設実現のために努力していただきたいと思います。

次に農業委員会の使命として一般農政活動の面が強く要請されています。農業軽視風潮の強い昨今極めて難しい仕事であります。さればこそ又その必要も痛感させられるわけです。

農業の後継者の問題、相続の在方等、農業委員会で調査された事項の中に、本県ほど、すべての子どもに財産の分与をしているところはない　民法の上からは極めて民主化された点であるが、農業経営の面からは、ますます後進性の原因にもなっていると指摘しています。登録税等農地等の移動に伴う経費の増加は農業の近代化を図ろうとする農家の悩みの一つのようです。税金対策も農業委員会の任務の一つといえましょう。

農家の利益代表機関としてもうんと働いてもらいたいものです。そしてその会を構成される農業委員の健斗を心からねがってやみません。最後に事務局の意見として地域農民とのつながりをどう強めるかが、こん後の問題であろうということでした。

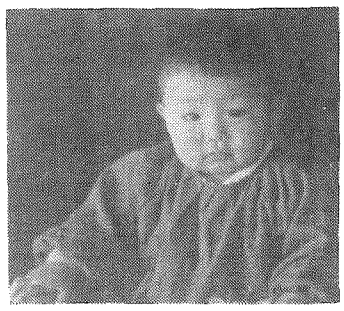
県一の赤ちゃん

白金原の本村美雄ちゃん

38年の暮に県下の乳児コンクールがあり、白金原部落の本村美雄ちゃんが、ずばぬけて県一の成績を得ました。お目でとうございました。

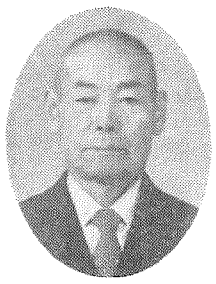
なお町内の乳児コンクールには二〇八名の赤ちゃんが出場し、このうちつぎの赤ちゃんが優秀な赤ちゃんとして表彰をうけました。

白金原部落　本村　美雄
仮屋　部落　武安　浩一
寺師　部落　徳重　聰
東原東部落　松元貴久美
高樋　部落　森　周治



（写真は県一の本村美雄ちゃん）

選挙管理委員長きまる



12月定例議会で選挙された選挙管理委員がきまりました　1月6日選挙管理委員会が開かれ　高樋部落の森国憲氏が委員長に互選されました。

森さんは大正6年に鹿児島県巡査をふり出しに、昭和2年徳之島枕崎、川内、国分、鹿屋、志布志伊集院　加世田の各警察署長を経て、昭和13年に退官された方で、選挙管理委員は27年から29年33年から35年の二期されています。

人間の敵

赤痢に注意

ことしの冬は、暖かいせいか全国的に赤痢の集団発生があとをたたず、この附近にも隣りの町村に発生しております。

冬に赤痢がと不思議におもう人もありましょうが、赤痢菌は夏でも冬でも四季を通じて活躍して繁殖の機会を待っています。食中毒も赤痢によく似た症状ですが、いずれも口から入る病菌ですから、食べ物と手の清潔には十分気をつけ、またかぜ等にかからぬよう、お互いに冬の健康を守りましょう

役場事務室の出入についてご協力を

職員以外の方の事務室への出入はご遠慮願います。

ご用の方はまず『受付』にお申し出でください。

庁舎の構造から、町民皆様の役場事務室への出入はご遠慮願って、住民室で、ご用件はすましていただくことをたて前にいたしております。しかし出入を禁じているわけではありません。ご用の方はまず『受付』にお申し出でください受付で関係課に連絡し係員が住民室にでて来ることになりますが、ご用件によってはおはいり願ってすましていただくこともあります。なにとぞ事務能率向上に町民皆様のご協力をお願い申し上げます。

始良町の林業（その一）

私は本紙本号から順を追って始良町の林業についてお話したいと思います。

さて始良町の全面積はおよそ一〇三七六町歩であります。これを大別すると水田が一、三二〇町歩・畑が四九八町歩・山林が六、一五八町歩、その他が二、四〇〇町歩であります。なおその他というのは宅地や塩田・樹園地・道路・河川・敷地等であります。

このなかで山林が占める比率はなんと全面積の約六二％におよんでいます。したがいましてこの広い林野から生産される森林資源が本町民の経済にまた町の自主財源として果たす役割は軽視できないのであります。

なおさらに森林は単に林産物の生産のみでなく、国土の保全、水源のかん養、工業の誘致発展、防災等の上に極めて重要なことは今さら私が申し上げるまでもありません。

山林を合理的に経営し利用して林産業の生産性を高めて所得の増大をはかることはまことに刻下の急務であります。

以上の町内森林を所有区分別に大別しますと、国有林野が一一〇町歩、専売公社有林が九八町歩、町有林野が一、三一三町歩、一般私有林が四、六三七町歩であります。ところで国有林野や専売公社有林等の話はしばらく置き、まづ町有林野からお話申し上げます。

町有林野の沿革から簡単にお話しますと、

合併前の旧山田村では在来の村有林はわずか三二町歩しかなかったのでありますが、昭和三年部落有林野の統一整理の結果、七六四町歩を村有林として取得し、合せて七九六町歩としたのであります

旧重富村では大正五年部落有林を統一して六二六町歩を村有林としたのであります。また旧帖佐町では旧山田村の中央大字上名に所在する山林約四七町歩に対し、明治19年ごろから三拾町外五〇余の字との入会関係を結んでいたものを昭和3年部落有林の整理統一に当り、これを分割して譲受けて町有林としたものであります

かくて昭和30年1月町村合併によって始良町の基本財産として引継がれ、現在に至っていることは申すまでもありません。

なおこれと前後して昭和38年6月国有林野整備臨時措置法にもとづき上名に所在する国有林野約八町歩を払下げ取得し、さらに昭和33年3月町村合併促進法に基ずき北山に所在する国有林八〇町歩の払下げを受けたのであります。

しかしながらこの間即ち昭和22年23年ごろ行なわれた町有林野の未墾地売払や昭和34・35年町有林野として経営価値のない林野を関係部落町民に売渡したので、現在町有林野の全面積は前述のとおり一、三一三町歩となった次第であります。この林野に対し町では森林の保続培養と生産力増強をはかりの保続培養と生産力増強をはかりの合せて国土の保全と自主財源造成のために格別の配慮を払っているのであります。

さてつぎに町有林野はどのような方針で経営されているかと申しますと、町有林野管理条例と部分林条例が制定され、これにもとづき経営されているのであります。

そこで経営状況を施業別に挙げてみますと、町の直営林が約五一三町歩、学校林が約五三町歩、部分林と分収林が合せて七四七町歩であります。部分林とか分収林というのはご承知のとおり植えた造林木が大きくなって、これを伐採処分したときの収益を造林者と土地所有者が契約したときの率で分配するのであります。この分収林と部分林の状況を簡単に説明しますと、部落や町民との部分林が約六二六町歩、分収林である官行造林が六一町歩、県行造林が三五町歩、森林開発公団造林が二九町歩であります。そしてこれらの分収率は部分林は大部分が六民四町官行造林が五自五町県行造林が同じく五県五町森林開発公団造林が四公六町であります。経済課牧万吉

子豚の下痢とその予防

子豚生産農家にとって最大の悩みは子豚の下痢である。下痢におかされると発育が極度におくれるばかりでなく、死亡率が非常に高い。ふつう白痢とよばれ、厳寒期から早春・梅雨期に多い。

白痢におかされ　これが長びくと非常になおりにくい。なおってもヒネ豚になって　ほとんど価値のないものになってしまう。したがって、予防と早期手当がなによりもたいせつである。

下痢を区分すると

1、生後一週間ごろにおこる下痢

子豚が黄色い下痢便で、しりのまわりをよごしている

これは母豚の乳しかのまないのであるから、母豚の乳からくるのが大部分と考えられる

母乳が酸性になったり、脂肪が多すぎたり、ミネラルやビタミンが不足したりするからである。したがって、母豚の管理、主として飼料の配合や量が適当かどうかよく調べてみて乳の質を改善するようにつとめることがたいせつである

濃厚飼料にかたよりすぎて、青草や残菜が足りなくないか。エサが多すぎはしないか。イモ類や澱粉粕が多すぎはしないか。与える水の量が足りなくないか。とかく購入飼料を多量に与えると、母豚がふとりすぎ乳の質がわるくなるのである。

手当としては、濃厚飼料をへらして青草や多汁性の残菜などをふやす。一日二回ぐらい、さかずきいっぱいの重曹を母豚のエサにまぜるか、ミネラル、ビタミンを配合した飼料強化剤給与も効果がある。

2、生後三週前後における下痢、最初黄白色の下痢から始まって、しだいに白色～灰白色そして血便が混ざるようになり、悪臭をはなつ。これが白痢である。

この原因は

(1)乳質が原因でありこの時期は母豚の乳が多量になるから、乳の飲みすぎも考えられる。

(2)寒い季節や梅雨時に多いことからみて、子豚の冷えこみ、豚舎の不潔やしめりも考えられる。

(3)生後二～三週になると、床やふん尿、母豚のエサバコなど不潔なものをなめまわすため　細菌性（主として大腸菌　の下痢をおこす

(4)フンカン虫が寄生した場合もある。

3、離乳後の下痢

胃腸カタルで、過食、つめたいエサ、豚舎のしめり　ひえこみが原因する。悪化すると血液を混じなかなかなおらない。まず絶食し豚舎を暖かくして少しづつ徐々にエサをふやすこと。

以上子豚の下痢について申し述べましたが　これが予防としては

①母豚のエサを工夫する。

②豚舎を清潔に　ワラをふやし、できれば赤外灯保温をしてとくに夜間を暖かくする。

③子豚に新しい腐植土を与える。

④薬品としては、飼料添加剤を母子両方に与えるか　悪臭のある下痢や血便には、家畜マイシン　オーレオマイシンが効果があるいずれにしても下痢は発育がとまり死亡率が高いので獣医師の診断を受け早期治療に務めることが肝要である。

畜産係長　八木

香奠返し

一金弐千円也　故田中モト様　古馬場　田中　盛忠殿
一金弐千円也　故吉盛万吉様　侍原　吉盛　ユカ殿
一金弐千円也　故春山喜之助様　奥山花　春山　スエ殿
一金弐千円也　故新薗チョツル様　中川原　新薗　藤雄殿
一金弐千円也　故木原チヨ様　堂園　木原　行雄殿
一金参千円也　故佐川幸之助様　白浜　佐川　キミ殿
一金五千円也　故池田宗太郎様　板ノ口　池田　隼人殿
一金参千円也　故藤田サワ様　梅山　藤田弥九郎殿
一金参千円也　故西宝田ユキノ様　豊留　西宝田仁右エ門殿
一金弐千円也　故落合浩一様　上の上　落合　重年殿
一金弐千円也　故花田イト様　白浜　花田　兼徳殿
一金弐千円也　故谷口仁右エ門様　大山東　谷口　武光殿